



いつまでも住み続けたいです
さらべつ

私たちの 議会

129

平成 21 年 8 月 10 日

発行 / 更 別 村 議 会

編集 / 議 会 運 営 委 員 会

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/gikaidayori.html>



6 月議会定例会一般質問

2
3

**第 2 回定例会 地球温暖化抑制にむけ
更別村地域新エネルギービジョン策定委員会設置条例を制定**

5
9

**『そこが聞きたい』
4 人が 8 項目を質す……一般質問**

第 4 回臨時会
第 5 回臨時会

3

第 3 回臨時会

4

9

国、道に意見書の提出 —— 7 件

審 議 結 果
議 会 日 誌

10

次の定例会は 9 月です。議会の傍聴にぜひおいでください。

第2回定例会

地球温暖化抑制にむけ

更別村地域新エネルギービジョン策定委員会設置条例を制定

第2回定例会は、6月15日から23日までの9日間の会期で行われました。

開会日の15日は、2件の報告案件、人事案件3件、条例案1件、過疎地域自立促進市町村計画変更案1件、村道路線廃止1件、村道路線認定1件、及び意見書案7件が審議されました。

その内、地域新エネルギービジョン策定委員会設置条例については総務厚生常任委員会に付託しました。

最終日の22日には、4人の議員が、8項目について一般質問を行い、理事者の見解を質しました。

また、初日に総務厚生常任委員会に付託していた、条例案についての審査報告が委員長からなされ、提案された議案等は可決され、会期を1日間残し、閉会しました。



これが新エネルギー！

報告

▼平成20年度繰越明許費

定額給付金支給事業、老人福祉センター改修工事、道路改良舗装工事等で合計3億5千168万円余りを平成21年度に繰り越すものです。

▼平成20年度(株)さらべつ産業振興公社事業報告

「道の駅さらべつ」「さらべつカントリパーク」の収支について報告され、単年度全体では約13万9千円の赤字となりました。

諮問案

▼人権擁護委員の推薦

人権擁護委員として、次の方の推薦に同意しました。これは、国の法律により、更別村においては2名の方が推薦されているものです。

花園町 安江勝明 氏

選任同意

▼公平委員会委員の選任同意

議会は、公平委員会委員の欠員に伴い、次の方の選任に同意しました。これは、国の法律により、更別村においては3名の方が選任されている

ものです。

本町 神成哲也 氏

▼固定資産評価審査委員会委員の選任同意

議会は、固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、次の方の再任に同意しました。これは、国の法律により、更別村においては3名の方が選任されているものです。

平和区 渡 典夫 氏

条例

▼地域新エネルギービジョン策定委員会設置条例

更別村におけるエネルギー利用の現状等を踏まえ、新エネルギー（太陽光発電等）の利用の可能性や方向性に関する今後の指針となるビジョンを策定するため、学識経験者や住民代表等で組織する策定委員会を設置する条例です。この条例は「総務厚生常任委員会」に付託され、委員会は「これからの新エネルギービジョンは、更別村にとって必要であり、委員会の設置条例は可決すべきもの」と報告、本会議において全員一致で可決となりました。

計画の変更

▼過疎地域自立促進市町村計画の変更

平成17年度から平成21年度を計画期間とする過疎地域自立促進市町村計画に、新たに「強い農業づくり事業」を組み入れた計画の変更をします。

村道路線の認定替え

▼村道路線の廃止と認定

次の村道2路線の延長に変更が生じたため、路線を廃止し、改めて認定するものです。

- ・更別東6条線
- ・更別2丁目線

補正予算

▼一般会計補正予算(第2号)

主には、宅地分譲地の買戻費488万1千円、新地域工ネルギービジョン策定費741万8千円、新型インフルエンザ等の感染予防対策費96万6千円など2千579万4千円を追加し、総額60億371万8千円となるものです。

質疑・応答

◎公平委員会委員の選任同意の件

堂場議員 神成氏の経歴等は。

村長 大樹郵便局から更別郵便局長として赴任され、現在活躍中の方。

堂場議員 公平委員の選任に決まりはあるのか。

村長 各職種からバランスよくお願いしている。

◎地域新エネルギービジョン策定委員会設置条例の件

堂場議員 附則に3月31日で効力を失うとあるが、ビジョンの策定は3月末に仕上がるというところか。

村長 そのとおり。

◎一般会計補正予算(第2号)の件

高橋議員 分譲地の買戻し予算を見込みで計上するのは分るが、当初予算で計上すべきではないか。また、歳入の違約金及び延滞利息は、買戻しに係る違約金と考えてよいか。

村長 買戻し予算は新年度から当初予算計上とした

また、違約金は買戻費488万1千円に対するものである。

堂場議員 セオイの里の販売状況は、今回の買戻し理由

は。

企画政策課長 今回の不況で、経済的に住宅建設ができなくなり解約の申し出があった。結果、5区画中、1区画が販売されている。

堂場議員 庁舎修繕費は正面玄関ひさし部分のことだが、急に修繕が必要になったのか。

総務課長 修繕が必要になったのは、4月以降で、状態が明らかに補正対応となった。

赤津議員 分譲地に係る予算科目を分り易く設置しては。

また、実質的な20年度の繰越額と留保額は。

副村長 科目の組み方は検討したい。

実質的な繰越額は9千910万2千円。留保額は2千995万3千円。

第4回臨時会で

5月29日開会の第4回議会臨時会では、議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例が審議され、可決されました。

これは、議会議員の報酬、特別職(村長・副村長)の給与、教育長の給与、村職員の給与の4つの条例を一括して改正し、本年度6月支給の期末手当を削減する内容です。

第5回臨時会で

7月16日開会の第5回議会臨時会では3会計で国の経済危機対策事業等の追加補正が審議され、可決されました。

一般会計(補正第3号)は、学校情報等環境整備、道路改良舗装等で、2億4千157万9千円追加補正を行い、総額62億4千529万7千円となるものです。

国保特別会計(補正第1号)「施設勘定」は、診療所管理備品整備で59万円追加補正を行い、総額3億7千815万9千円となるものです。

下水道事業特別会計(補正

第1号)は、南2線甲道路に係る下水道管整備等で1千644万円追加補正を行い、総額2億4千999万4千円となるものです。

議会に請願・陳情をされる方へ

請願・陳情とは、国や道・市町村に対し希望や要望をすることです。

請願(陳情)書が議会に提出されると、議会ではこれを審査し、採択・不採択を決定します。

採択したものは、関係する行政機関(国・道など)に意見書等で送付し、村民の声を反映させることとなります。

請願・陳情はいつでも受付けていますが、事務処理の都合がありますので、定例議会開会月の前月末日までに提出して下さい。

その他詳しい内容については、議会事務局にお問い合わせ下さい。

TEL 52・2117



第3回臨時会

各委員任期満了により選任

5月1日開会の第3回議会臨時会では、各常任委員、議会運営委員の任期満了により、委員の選任が行われたほか、地方税法の改正に伴う国民健康保険税条例、村税条例等の一部改正、平成21年度一般会計補正予算（第1号）など4件が審議され、可決されました。

また、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙により4名の委員、4名の補充員が決定しました。（下段参照）

○総務厚生常任委員会

総務厚生常任委員会とは

本会議（定例会・臨時会）の審議の予備的審査、調査機関で

- ・総務、税財政
- ・村政の総合企画
- ・住民福祉、保健衛生
- ・消防

などを担当しています。

委員長 高橋 清美
副委員長 赤津寛一郎
委員 菊地 ルツ
委員 堂場 聰志
委員 本多 芳宏



○産業文教常任委員会

産業文教常任委員会とは

本会議（定例会・臨時会）の審議の予備的審査、調査機関で

- ・農林業
- ・商工観光及び労働
- ・土木、建設
- ・上下水道
- ・教育

などを担当しています。

委員長 松橋 昌和
副委員長 本多 芳宏
委員 菊地 ルツ
委員 堂場 聰志



○議会運営委員会

議会運営委員会は

円滑な議会運営のため、運営全般について協議、意見調整する機関で

- ・議会の規則、条例
- ・議長の諮問
- ・議会広報

などを担当しています。

委員長 堂場 聰志
副委員長 菊地 ルツ
委員 高橋 清美
委員 松橋 昌和
委員 本多 芳宏



第3回臨時会で

▼更別村国民健康保険税条例及び更別村税条例等の一部改正は、地方税法の一部改正に伴う改正です。

▼更別憩の家改築工事（建築主体工事）請負契約締結は、5千万円以上の契約に関し議会の議決が必要となるものです。請負契約額1億4千910万円

▼一般会計補正予算（第1号）は、強い農業づくり事業補助金20億3千326万6千円の追加補正を行い、総額が59億7千792万4千円となるものです。

▼選挙管理委員会委員及び補充員の選挙結果は次のとおりです。

○選挙管理委員

濱口 幸信さん（柏町）
森 美佐子さん（錦町）
鈴木 淳子さん（上更別区）
安江 勝明さん（花園町）

○選挙管理委員補充員

田中 康雄さん（香川区）
酒井 悦朗さん（平和区）
佐久間 博さん（花園町）
亀田 史子さん（錦町）

東18号道路の交通安全の確保を

長一村としての安全対策、規制標識の設置要望を推進する



菊地議員

菊地議員 高規格道路整備以来、東18号道路の交通量と事故が増加しました。沿線住民の生活道路、通学路の安全が脅かされています。スクールバス等のバス停が設置されており利用する子供たち、送迎

そこが聞きたい

いっぱん
質問

第2回定例会は4人の議員が8項目について一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

する保護者たちも交通事故の危険に曝されています。また、少年団、クラブ活動の子供たちの自転車使用も心配されるところで。

現状のままでは、重大事故の発生も推測され、根本的な速度対策の必要性があります。重大事故が起こってからでは遅すぎます。

交通量増加・交通マナーの悪化対策について村長の所見をお伺いいたします。

村長 規制標識（速度規制、一時停止等）は、公安委員

員会が設置するもので、村はその設置を要望していますが、予算の関係で要望どおりには、

いつておりません。このため設置の遅れている箇所につきましては、昨年度も行っておりますが、村において、交差点近くの警戒標識を設置し、交通安全対策を講じてきていますが、交通量の増大、歩道も無いことから歩行者や自転車通行の安全対策を地域から

も急ぎ求められているところ

です。南1線から旭40号間に安全

標識として、警戒標識（走行注意、スピードダウン）6基、舗装横断線（走行車両に軽い衝撃を与える線）6箇所の設置を実施いたします。残る旭40号から中札内村界までと、南4線など主要な交差点の警戒標識等については、本年度の国の経済危機対策臨時交付金を活用し、設置を進め、安全対策を講じたいと考えてい

ます。

高規格道路の利用が、予想を上回る1日4千台を超え、接続する周辺道路の安全対策に苦慮しています。更別インターチェンジまでの早期完成と周辺対策について、更に国



村で設置している警戒標識

スクールニューディール政策への取り組みは

長官 教育 ― 各事業とも積極的に取り組みたい



松橋議員

松橋議員 スクールニューディール構想の3つの事業項目について伺います。

- ① 「公立小中学校の耐震化」、小中学校は既に耐震化済みですが、学校給食センターは除外建築物で耐震化対象外とのことです。大災害等が発生した場合は、食事提供施設の役目等を負うことになりませんが、耐震化、改築を行なう考えはありませんか。
- ② 「公立小中学校への太陽光発電導入等工コ改修」、今年度事業で更別小学校へ太陽光発電の設置をしますが、他の小中学校への設置計画と太陽光発電をどのように授業に取り入れるかを伺います。
- ③ 「公立小中学校等のICT

「環境の整備」、国の整備目標である、デジタルテレビ化、

校務用コンピュータを教員に1人1台、教育用コンピュータを児童生徒3.6人に1台、全ての普通教室の校内LAN整備や電子黒板についても、経済危機対策の交付金を活用し取り組むべきと考えますが、教育長の考えをお伺いします。

教育長 ①耐震化規定に該当していない施設は学校給食センター、上更別幼稚園です。

上更別幼稚園は改修すべき施設と考えますが、園児数の増減が大きいことから耐震診断も含め当面の間、園舎の状況等を見たいと考えています。学校給食センターは、耐震診断を実施しますが、改築等は、調理の動線、提供食数の減少、建物構造の問題や費用対効果などを全体的に考え、検討してまいります。

②太陽光発電の取組みは、環境学習として低学年は「生活科」で10時間程度、中・高

学年は「総合学習」で13から15時間程度と想定しています。

他校への設置についてはコスト高、電力会社の買入、維持管理等の問題点がありますが、地域新エネルギービジョン策

学校給食での地場産物の利用拡大は

長官 教育 ― 子ども達に地場産物の大切さを教えたい

定の中で設置の可能性等を検討したいと考えます。

③省エネ改修は、各校とも構造的にある程度断熱性が保たれており、新たな省エネ改修計画はありません。

ICT環境の整備については既に計画しており、テレビのデジタル化は、職員室用1台のほか授業用で移動可能なものを更別小学校、中学校は、

各階に1台の導入、上更別小学校は、学級数が少ないことから、教室用3台、幼稚園は各1台を導入します。

電子黒板は各校に1台、校務用コンピュータは教員1人1台、教育用コンピュータは利便性を考えコンピュータ室に整備します。合計96台、村内で32人に1台の割合となります。

松橋議員 学校給食地場産物利用拡大事業は、地場産物の利用割合を一定以上増加させる計画をもつ地域に対し地場産物の原料費等の経費を助成する事業で、国は地場産物の利用割合22・3%を22年度までに30%に上げるとしており、この事業の活用と更別の状態を含めて教育長の考えをお聞きしたいと思います。

教育長 この事業は市町村などで利用計画を策定し、利用割合を20年度に比べて5ポイント以上拡大、または品目数か重量を5割以上拡大し、

増えた地場産物の差の部分の材料費2分の1を助成するといふものです。助成給食回数には年間20回までとのこと。

更村の学校給食での地場産物の利用は、昨年9月を例にとると更別産、北海道産合わせて54・2%となっており、国の目標割合30%は今後も達成できると判断しています。利用割合を増やすことは、

単調な給食内容にならないを得ず、バラエティに富んだ食材を取り入れることで、食に対する興味を引く部分もあり特定の産地食材を増やすこと

は難しさを伴いますし、経費も増加し、保護者負担の増にもつながり、積極的な取り組みは難しいと考えます。

子ども達に対する地場産物産物の安心、安全、食事の大切さ、命をつなぐ農業の大切さは、十分認識しております。

総合学習、生活科の授業、栄養教諭による食育、給食指導、ふるさと給食助成金による地元食材の提供を続けるなど、地元農畜産物の大切さを教える事業を推進してまいります。

公約（マニフェスト）の進捗、達成状況は

長—進捗度は6割5分、達成度は5割



本多議員

本多議員 任期の2年が過ぎ選挙で公約した政策の進捗、達成状況をお伺いします。

また、本村の財政の支えとなる過疎特別措置法が失効すると村政運営が大変になります。公約実現は大事ですが、公約実現だけが村政運営ではないと思います。多様なニーズに応え、村の将来の発展に向けた施策を講じなければなりません。今後の公約以外の施策の取組みと課題についてもお伺いします。

村長 公約の約6割5分は取り組めたが、難しいもの、時間の要するものが積み残しとなっており、達成度は5割程度と思っています。

過疎特別措置法の期限が21

年度末を迎えるという課題があります。更別が過疎指定から外れる可能性があり、憩の家の改築等を過疎期限内に実施したわけです。また過疎対策債を予定した老人福祉センター改修などは昨年度の国の緊急経済対策交付金を活用し整備を行っているものです。

村の総合計画は、過疎対策債を見込んだ計画のため財政計画を見直す必要があります。特に国営かんばい排水負担金6億4千万円を繰上げ償還するか、年賦償還するかを平成22年度中に判断をしなければならぬところです。

施策はその時々、村民にとっての優先度を決め対応しなければならぬと思っています。公約以外の施策についても財政運営を考えての取り組みとなります。国の経済危機対策臨時交付金事業等を活用し本年度においても、2億8千万円規模の事業追加を検討しています。

万

定住戸数の増加の傾向から状況に応じた住宅対応施策、十勝モーターパーク滞納等困難な問題もあります。また、企業誘致に係る十勝田園地域産業活性化基本計画

農地の村外流出の防止策は

長—農地パトロール等による情報把握に努める

本多議員 更別の農地面積1万2千249haの内、村外者の所有面積が282ha、村外者への賃貸面積が31・5haで合せて約314ha、割合にして2・56%を村外者が耕作しています。これは、更別の農家6〜7戸に相当し、生産販売高では2億8千万円が村外へ流出したことになります。

農地法の改正が進み、道内外の企業の参入も考えられます。また、更別の農地価格、賃貸価格は近隣町村に比べ低く、求めやすくなっています。

万

が国の承認となり、これを契機に一層既存企業の振興とともに企業誘致に努めます。残り任期を職員一丸となり、初心に帰って公約にプラスした村づくりに取り組んでまいります。



建設中の憩の家

更別の農家は、力と意欲を持っていきます。農地の村外流出をさせてはなりません。流出の防止策について、農業委員会長の所見をお伺いします。

農業委員会会長 農業生産物の村外流出は、私も大変な損失であると考えます。

今回の農地法改正は賃貸期限を20年から50年に、企業が借りられる農地規制を撤廃するなどの問題があります。

更別の農地価格、賃貸価格は、近隣町村に比べると低い

と言われますが、村の担い手が農地を有効利用できるよう設定しているところです。

第4期農業振興計画の策定に当り実施したアンケート調査により、担い手の半数以上の方が規模拡大の意向を持っておられます。それに応えていかなければならないと思っています。

農地流出については、農地パトロール等を行い農業委員が、担当地区内の情報を早期に把握し、村外流出を食い止めるよう努力をしていきます。

耕地防風林造成に対する助成は

長—平成22年度実施に向け施策を検討したい

本多議員

5月19日の暴風に
よりビート、アスパラガスに
被害がありました。時期が少
し遅ければ豆類にも被害がで
たと考えられます。このよう
な被害は、毎年のもものでは
ありませんが、近年の気象の変

動からも、耕地防風林を見直
さなければと考えます。
耕地防風林は、風による農
作物被害や土壌の飛散防止効
果のほか、生活環境や景観維
持にも重要な役割を果たして
おり、農業振興に欠かせない

ものと思います。

耕地防風林造成に対する助
成などの施策について、村長
の所見を伺います。

村長

森林の果たす役割
は、保水や自然災害の緩和、
地球温暖化防止などが上げら

れますし、耕地防風林は、優
良農地の保全に必要であり、
伐採後の植栽を奨励していま
す。

一方、民有林は、ここ数年
減少の一途です。また、必要
としつつも、耕地防風林が伐
採され、その後、植栽されな
い箇所が見受けられます。更
別村の風物であった耕地防風
林がなくなること危惧して
います。

農地・水・環境保全向上対
策事業の活動組織においても
耕地防風林造成を研究されて
いると聞いていますが、村の
単独事業としても施策的に誘
導が必要と考えています。

平成22年度の春から実施出
来るよう検討したいと思っ
ています。

農の雇用事業を活用した振興策を

長—商工業とのバランス等を踏まえ、検討したい



高橋議員

高橋議員

雇用情勢悪化の
中、国は全国農業会議所を窓
口とし農の雇用事業に取り組
んでいます。今年度も補正予
算化し、昨年度から継続し実
施することです。事業内
容は緩和され、家族経営、一

村長

関係機関で構成す
る農業担い手育成センターに
おいて実習生の研修、受け入
れ対策、共済掛金等の支援な
どを実施していますが、ここ
数年活用されておりません。

改めて農業担い手育成センター
の事業内容を再検討すること
にしています。

国の事業実施対象者は、農
業法人を主としており、この
ことから農の雇用創出を促進
するには、農業経営の法人化
の推進も必要と考えます。

国の農政支援策が農業法人
に向かっており、今年度、更
別村担い手育成総合支援協議
会において法人設立活動支援
を計画しているところです。
今後の対策については、村

における事業の実施状況、国
の事業状況、商工業者とのバ
ランス等を踏まえ、更に関係
機関と検討してまいります。



定例会審議結果

第2回村議会定例会（6月15日～6月22日）

議案	件名	議決結果
報告	・平成20年度繰越明許費 ・平成20年度株式会社さらべつ産業振興公社事業報告	報告済
人事案件	・人権擁護委員の推薦 ・更別村公平委員会委員の選任 ・更別村固定資産評価審査委員会委員の選任	同意議決
議案	▼条例の制定 ・更別村地域新エネルギービジョン策定委員会設置条例 ▼平成21年度補正予算 ・一般会計（第2号） ▼その他 ・更別村過疎地域自立促進進捗町村計画変更 ・村道路線廃止 ・村道路線認定	原案可決
意見書	・地方財政の充実・強化を求める意見書 ・地方分権改革にあたり地域経済等に配慮を求める意見書 ・全国健康保険協会管掌健康保険の財源調整機能の拡充等を求める意見書 ・核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書 ・北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書 ・平成22年度国家予算編成における義務教育無償・義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率2分の1復元、就学援助制度充実など教育予算の確保・拡充を求める意見書 ・勤労貧困層の解消に向けた社会的セーフティネットの再構築に関する意見書	原案可決

臨時会審議結果

第3回村議会臨時会（5月1日）

議案	件名	議決結果
議案	▼条例の一部改正 ・更別村議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決

第4回村議会臨時会（5月29日）

議案	件名	議決結果
議案	▼条例の一部改正 ・更別村国民健康保険条例 ・平成21年度補正予算 ・一般会計（第1号） ▼その他 ・更別憩の家改築工事（建築主体工事）請負契約締結	原案可決

第5回村議会臨時会（7月16日）

議案	件名	議決結果
議案	▼平成21年度補正予算 ・一般会計（第3号） ・国民健康保険特別会計（第1号） ・公共下水道事業特別会計（第1号）	原案可決



日	内容	出席者
5月1日	議会運営委員会 第3回臨時会 全員協議会	議長出席
5月13日	更別村商工会通常総会に議長出席	議長出席
5月14日	十勝圏活性化推進期成会 文教福祉委員会に議長出席	議長出席
5月19日	支庁制度改革に係る地域 意見交換会に議長出席 更別村議友会総会に議長出席	議長出席
5月20日	十勝圏活性化推進期成会 定期総会に議長出席 更別村農業協同組合通常 総会に議長出席	議長出席
5月21日	更別消防団春季消防演習 に議長出席	議長出席
5月24日	全員協議会	議長出席
5月26日	高規格幹線道路帯広・広 尾自動車道早期建設促進 期成会総会に議長出席 更別農業高等学校改築整 備促進期成会総会に議長 出席	議長出席
5月29日	議会運営委員会 第4回臨時会 南十勝正副議長懇話会に 正副議長出席	議長出席
6月3日	議会運営委員会 更別森林組合通常総会に 議長出席	議長出席
6月4日～5日	北海道町村議会議 長会定期総会に議長出席	議長出席
6月3日	議会運営委員会 15日～22日 第2回議会定例会 議会運営委員会 上更別幼稚園・小学校運 動会に議長出席	議長出席
6月16日	総務厚生常任委員会 産業文教常任委員会 更別村高齢者運動会に議 長出席	議長出席
6月15日	北海道町村議会議員研修 会に全議員出席	議長出席
6月15日	更別幼稚園運動会に議長 出席	議長出席
6月12日	羅臼町議会行政視察 国際トラクターBAMB Aに議長出席	議長出席
6月15日	戦没者追悼式に議長出席	議長出席
6月16日	議会運営委員会 第5回議会臨時会	議長出席



▼4月は大雪、5月は大風と砂嵐、6月は低温、そして雨で各小学校の運動会は順延。数ヶ月で1年分の天候を経験したような感があります。

▼世界金融危機、新型インフルエンザの流行に世間の関心が集まり、地元の諸問題は話題に上ることが少ないと思うのは小生、だけでしょうか。

▼昨年あたりから、鹿が異常に増えて、国道沿いでも群れで作物を食べているのを見ると、近代農業を自負する更別も自然に回帰しているのかと、錯覚してしまいます。

▼村の予算は国の緊急経済対策もあり、補正も含め近年にない大型予算となっております。緊張感を持って任に当たりたいと思います。

▼6月の定例会では、4人の議員が幅広い分野から一般質問をし、村政を質しました。農業青色申告会の女性会員が傍聴して下さいました。村政に関心を持って、村づくりに参画していただければ、理想の郷土がつくり上げられるはず。今後も協働の村づくりの為、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

（松橋委員 記）